令和元年度第1回 安城市市民協働推進会議議事要旨

日時	令和元年7月23日（火） 午前10時～12時	
場所	安城市役所本庁舎3階 第10会議室	
出席者	委員	加藤会長、宮原副会長、山下委員、山本委員、野上委員、松岡委員、高橋委員、久恒委員、廣田委員、舩尾委員、今井委員 (計11名)
	事務局	神谷市民生活部長、原田市民協働課長、石川市民協働課長補佐、市民協働課職員3名（浅井、加藤（記）、太田）
欠席者	竹味委員、三浦委員、榊原委員（計3名）	
傍聴者	1名	
次第	1 会長の選出 2 会長あいさつ 3 議題 第2次安城市市民協働推進計画の進捗状況（平成30年度分）について 4 報告事項 令和2年度安城市市民活動補助金の募集概要について 5 その他 次回審議会の開催（令和2年度市民活動補助金公開プレゼンテーション） 令和2年1月18日（土）午前9時15分を予定	

1 今回の会議の目的

- ・ 第2次市民協働推進計画の進捗状況の確認・評価
- ・ 令和2年度安城市市民活動補助金の募集概要の紹介

2 議事録

事務局：

会議に先立ちまして、4月から新しく委員になられた方3名のご紹介をさせていただきます。町内会長連絡協議会会長 加藤研一様、安城市市民協働サポータークラブ 松岡万里子様、本日は欠席をされていらっしゃいますが、碧海信用金庫経営管理部部長 榊原直志様、以上3名の方です。よろしくお願いたします。また、事務局の人事異動により、職員が一部異動となっておりますので、紹介いたします。市民生活部長 神谷浩平、市民協働課長 原田浩至、主査 浅井裕美、以上の3名です。よろしくお願いたします。

それでは、時間となりましたので会議を始めさせていただきます。

（市民憲章の唱和）

(1) 会長の選出

事務局：

それでは次第の1、昨年度まで本審議会の会長をお勤めいただいた岩井委員が5月の町内

会長連絡協議会で交代されましたので、会長の選出から始めたいと思います。安城市市民協働推進会議規則第2条の規定により、会長及び副会長は委員の互選により選出すると定められています。会長の選出につきまして、ご発言はありますでしょうか。

委員：

加藤委員を推薦します。加藤委員は町内会連絡協議会の会長として、地域や行政にも幅広い人脈やネットワークをお持ちであり、地域の課題にも精通されておられます。この審議会の会長に適任かと思しますので、推薦します。

事務局：

ただいま加藤委員を会長にというご推薦がありましたが、いかがでしょうか。

委員：

異議なし。

事務局：

それでは、加藤委員に会長をお願いしたいと思います。加藤委員は、前の席へご移動お願いします。

続きまして、次第2に移ります。会長あいさつとして、加藤会長からご挨拶をお願いいたします。

(2) 会長あいさつ

会長：

皆さんこんにちは。私は今ご紹介ありましたように、この5月から、安城市町内会長連絡協議会の会長を務めることになりました、加藤研一です。私は平成24年から、南部の榎前町内会の会長を務めており、現在8年目でございます。町内会の運営に当たり、従来からの一般的な町内会活動と地域見守り活動を通じた福祉活動。また、市で進めている減災まちづくり研究会の活動を通じた防災活動に力を入れてきております。

昨年度は、町内会長連絡協議会の副会長の立場にあり、福祉部関係の第4次安城市地域福祉計画の取りまとめに携わりまして、貴重な体験をさせていただきました。

本日の市民協働推進会議ですが、安城市では2012年、平成24年10月に安城市市民協働推進条例が施行されました。この条例は、市民協働の基本理念、担い手の役割が入っておりまして、市民協働推進の基本的な事項が取りまとめられている条例であります。

この条例の理念に則り、市民協働のまちづくりを計画的に進めていくのが、第1次推進計画であり、2013年度からの5年間。現在は第2次計画で2018年度から始まっておりまして、今年度はその2年目に当たり、本日は最初の評価会議という位置づけであります。

この安城市の市民協働推進計画というものは、第8次の安城市総合計画を進めるための個

別計画の位置づけになっております。私はこの総合計画審議会にも、先日、会長という立場で携わらせていただくということになり、大変身の引き締まる思いがしております。

本会議において、委員の皆様のおかげで、無事に会長の任が務められますことをお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。

事務局：

ありがとうございました。それでは、次第3の議題に移らせていただきます。安城市市民協働推進会議規則第3条の規定に「会長が議長を務める」とございますので、ここからは加藤会長に議事の進行をお願いいたします。

(3) 議題 第2次安城市市民協働推進計画の進捗状況（平成30年度分）について

会長：

それでは、議事を進めさせていただきます。議題の第2次安城市市民協働推進計画の進捗状況（平成30年度分）について、事務局より説明をお願いします。

事務局：

（第2次安城市市民協働推進計画の概要と進捗状況（平成30年度分）、委員からの質問事項について説明）

会長：

ありがとうございました。委員の皆さんから事前に提出のあった質問については、事務局より、個別に説明がありましたので、理解が進んだかと思いますが、その質問も含め、もし追加のご意見・ご質問がございましたらこの場でお願いします。

委員：

市民公募委員の山下です。よろしくお願いします。質問に関してです。説明いただいたんですが、まず、資料3の1番最初の資料1の1の各事業です。質問の回答として、過去の実績と比較し、事業内容の効果を判断することができないためとありますが、私が質問として聞きたかったのは、実績ではなく、計画に対してどうだったのかを聞いているんですね。先ほどの説明の中で、冒頭にあったとおり、計画の中でPDCAを回すと言ってるんですね。計画に対してこれだけできましたっていうのが、今回の施策状況調査シートだと思ったので、そういう意味合いで質問をさせていただきました。なので、説明で分かりますが、そもそもフォーマットが悪いんですね。見にくい。最初これぐらいの計画がありました、今回は何年度で実績はこれですというふうに書いてもらわないと。なのでフォーマットをできるだけ分かりやすくしてほしいのが1つと、説明の中で、事務局より1番最初に冒頭でも言われましたが、資料及び質問書の送付があったのが3連休の前でした。質問書の提出期限が休み明けに出してくださいって、というのはどういうことですか。ちゃんと3連休休んだ上で、平日に見

てくださいというのが当たり前の話なので、1週間前には欲しいところです。

長くなりましたが、質問は計画に関して、実績はどうだったのかを聞いているので、計画はあるんですかということを知りたいです。

会長：

今回は2次の計画についての最初の評価会議ということですが、1次の計画の際とフォーマットは違うんですかね。

事務局：

すみません。先に加藤会長の質問に対して回答させていただきます。フォーマットは概ね、1次計画のものと同様です。

次に、山下委員の質問に対して回答させていただきます。山下委員、委員のみなさまの総意として、ご指摘含め質問をいただきありがとうございます。また、大変失礼いたしました。ご質問の計画の有無について回答いたします。

例えば、資料1の1を参考に説明しますと、方針に基づいてあるPの部分が大きな計画の内容となりまして、事業ナンバーの横にイベントなどを活用した市民活動に関するPRの実施とあります。事業の内容としては多くの市民が集まるイベントなどを活用し、市民活動に関するPRをすることで、市民の理解を深め、市民活動への参加のきっかけづくりを行うとしています。毎年度、こちらについては、所管課がこれに基づいて事業を実施することとしており、事業計画としては、こちらのPに記載の、大きな計画の中での位置づけになります。

委員：

この調査シートの1番上の記載部分が計画ということなんですね。では、このところをもう少し、わかりやすく定量的に書いていただくと見る方はありがたいと言つけ加えさせていただきます。この質問を終えたいと思います。ありがとうございました。

事務局：

いただいたご意見を踏まえ、評価シートに関しましては、今後、改善を図ってまいりたいと思います。

会長：

質問事項の回答書の1番ナンバー1の最後の部分について、今、説明があったと思いますが、毎年あることですので、より委員の皆さんが確認しやすい形を整えていっていただきたいと思います。

委員：

船尾と申します。この資料3の質問の6番についてですが、青少年の家はまだわかるが、

生涯学習ボランティアセンターの存在意義が分かりませんとあります。実は私、この場にチームリカバリーとして来ていますが、ほかの団体で更生保護女性会という団体に所属しており、実はこの生涯学習ボランティアセンターにとってもお世話になっております。資料には生涯学習課から回答されていますが、利用している側から、少し言わせていただければと思います。

文化センターが改修される前からボランティア室で、私たち更生保護女性会は会議をしたりとか、マスコットづくりという作業をしています。実は、そういう作業するときの場所がなかなか借りられないんですね。私たち仲間の中に保護司さんがいますので、さくら庁舎の中にある保護司さんの伝手で会議室を借りたりとかあちこちでやっています。そういったことが、文化センターがリニューアルして開館したおかげで利用できるようになり、場所も明るくてすごく使いやすいたとこで、とても重宝しております。

それから色んな荷物ですとかも、ロッカーを置いていただいているので、作業をするための材料などを置くことができ、とても便利に使わせていただいております。利用する側の意見として、そういったこともつけ加えさせていただければと思います、発言させてもらいました。

委員：

すみません、1番最初の質問のところですね、私の間違いがありまして、青少年の家は、まだわかるが、生涯学習ボランティアセンターの存在意義はわかりませんと。特定の市民がではなくて、特定の市民しか利用できない、または利用していないような施設は利用しやすい施設とは言えないのではないかと、という話で質問させてもらったんですね。回答として、そのとおりのことが書いてあるんですよ。今までの、今まで使っていた団体をそのままスライドさせて使ってもらってますよというふうに書いてあるんですね。これがいいんですかって話なんですね。本来だったら、ボランティアセンターは他のところもそうですけれども、指定管理に出すべきだと私は思います。広く市民が使ってこそその市民活動やボランティアセンターなのではないかという話なんです。特定の団体が使っていて、本当にそのような中で協働がどれだけできるんですか。広い人たちが入ってきて、協働して初めて活性化になると考えます。ここがあるために、市民活動センターの一部の機能が阻害されているんじゃないかと僕は思っているんです。これ見る限りは、恣意的に運用されてんじゃないのっていうふうに思えるんですね。市民が正しく平等に使え場所だということが、あそこのボランティアセンターで本当に誰が知っているんでしょうかねという話なんです。そういうことも含めてちゃんとやってもらわないとこれ市民の財産なんで、誰からも後ろ指が刺されないやり方をしてくださいよっていう意味で、質問を書かせてもらいました。

事務局：

生涯学習課からは回答以上のことは聞いておりません。山下委員がおっしゃられるのが現状だとは思いますが、今、生涯学習課で第3次の生涯学習推進計画を進めており、第4次の計画を策定中です。その第3次推進計画の中に、生涯学習ボランティアセンターの充実が掲げられておりまして、生涯学習に関する市民活動団体等の活動拠点として、生涯学習ボラン

ティアセンターの利用促進を図る。また利用団体の幅を広げるとともに、団体同士の情報交換の場、協働支援の場としていくなど、より有効な利活用が図られるよう改善を図るとうたわれておりますので、生涯学習課としても、現状のままではいけない。改善しないといけないということは認識していると思いますが、なかなか具体的に事が進んでいかないというのが現状ではないかと思えます。以上です。

委員：

そうであるならば、情報共有ぐらいは早くやってくださいって話です。何で情報共有も進んでないんですか、おかしいんじゃないですかと、生涯学習課に言っておいていただきたいです。

事務局：

生涯学習課に伝えます。

会長：

今、山下委員の言われるね、なるべく広く開かれた活用ができるように。この件には限りませんが、常にそういう観点を持って業務に取り組んでいただきたいと思えます。その他よろしいでしょうか。

委員：

アイシンAWの今井です。ちょっと基本的な話なんですが、今回このようにそれぞれの施策について、評価項目に基づき、AとかBで評価するというところで、委員の立場から、そのようにチェックをさせてもらいました。質問事項で、委員から質問があって、それに対して回答が出ています。例えば、この資料3の番号で3番目には、回答として、正しく伝わっているとは必ずしも言えませんが、改善していくといった回答がされています。それで、もともとの評価に対して、今回の審議の結果をもって修正されるのでしょうか。

事務局：

お手元の資料に記載の評価は事務局及び所管課からの評価案として、委員の皆様は資料を送付しております。この評価の決定をしていただくのが、この後、加藤会長から議事の中で確認いただきますが、この本会議の役割でございます。

委員：

きょうの議論で評価が変わってくるということでもいいでしょうか。

事務局：

そういうことです。

会長：

今の説明にありましたように、皆さんの御意見を踏まえて今出ている評価が妥当かどうかということを決めていくというと大げさですが、そういう変更もありうるということです。

委員：

ちょっと教えてもらいたいんですが、例えばAからBに変わりました。BからCに変わりました、という話になったときに何か具体的に次のアクションはあるのでしょうか。それぞれの担当課に対し、フィードバックはされると思うんですが。

事務局：

今井委員、再度のご確認ありがとうございます。この会議体自体が委員の皆様がこの計画の評価をしていただくという役割があります。市役所の各所管部署に対し、評価の調査依頼をすることで、各所管部署にとっては、昨年度行った事業について、このシートに基づきPDCAに基づく振り返りを行ってもらおう仕組みとなります。事業内容につきましては、各所管部署で、チェックを行い、課題解決・改善として次年度（今年度）事業を行う上で、留意する点を記載する箇所がございますが、再度、この会議体で委員の皆様からご指摘いただいた評価に関しましては、先ほどの生涯学習課含めまして、所管課に対し、委員からの意見として、お伝えさせていただきますので、それを踏まえ改善していくという流れになります。

会長：

先ほどの質問に出た、事前に出てるもの以外にも、きょうこの場で皆さんから発言があればそれはフィードバックされるということだと思えます。

委員：

シートの実績DOの部分には、数字的なもの例えば、実績として5回参加し5回開催しましたとかっていう形で記載があるんですね。ただプラン自体に、そういった数字的なもので記載がないので評価がしづらいことだと思います。例えば、プランの部分に活動の実施、講座を5回開催するといった目標に設定するということであるなら、実績が5回できていれば評価がAになるという、話になると思うんです。

ただ、事業目的もきっかけづくりと行動できる人材を育てるっていう、二つの目的が入ってしまっています。とするならば、一つの、行動できる人材を育てるというものに対する評価ができるような、できるだけ数字的なものは、僕たちも団体活動をする上で、計画を立てる際、できるだけ評価するためには数字を意識しています。全体に言えることだと思います。他の委員からの意見のあった、定量的って言われるのはそういうところですよ。僕も感じました。

会長：

はい、ありがとうございます。私、さっき冒頭に申し上げましたよね、1次計画のときはど

ういうね、このチェックがされてきたのかなど。それがもし、そのときの委員のメンバー次第で十分な発表があった場合も、なかった場合もあると思うんですよ。ただ、今回はこういう形で質問事項に対する回答も事務局で書いていただいたので、この書かれた回答については、次年度で反映していただいて、1年後の進捗状況のフォローがですね、的確にできるように。おそらく委員のメンバーも変わらないと思いますので、そこで結果が出ると思います。実際、2次計画の初年度だからやりにくかった点もあると思いますので、そこと今回の質問回答を踏まえてですね、来年度の19年度分については取り組んでいただきたいと、各課にお伝えいただきたいと思います。

あと、評価そのものについてですが、これは絶対A、あるいはCだと変えないといけないものについてはどうでしょうか。今申し上げたように次年度、またチェックしますので、そこでこれはどうだ、ということであれば、そのときは評価ダウンということも、あるのかもしれませんが、今回はどうでしょうか。これで1度持ち帰ってもらい、取り組んでいただくということで。

副会長：

すみません。今の趣旨と少し違う意見・質問になるんですけど、この、担い手育成の部分がすごくたくさんいろんな講座もされていて、いろんな部署で一定の参加者がいらっしやると。ただリピーターが多くて新規の方がいらっしやらないとか、実際に受講されるんだけど、具体的な活動になかなかステップアップしないっていうところの課題がどの項目見ても多分見えてきていて、多分それはどこの自治体でもあり、私たちもそうなんですけど、課題になってくるところだと思うんです。関心はあるんだけど、具体的な一步を踏み出せないみたいところの課題感をどうお考えなのかなっていうところですね。5年間の中でどの課題を1番進めるかというのはどこか意思疎通が図れたり、もし何か一つ目標持っているといいと思うんですけど、その中でせっかくこんなにたくさん参加者が参加していただけるなら、より1人でも2人でも、具体的な活動にいていただけるといいのかなど。そのときに、既にある団体の情報がよく分からないから参加できないのか。そもそも、そうじゃなくて自分がやりたいと思っている団体がないから新しいのを創りたいんだけど、創り方が分からないのか。関心ある団体はあるんだけど、自分の今の生活、スタイル的に日中に活動するのが難しかったりっていう、課題感があってできないのか。もしくは土日だけだったら、関わられるのかとか。何かそういう課題が見えてくるようなアプローチをこれだけの施策全体で何か1個できると、来年度以降の施策に反映できるようなデータが見えてくるのかなと思うんですけど、今の中でどういう認識をされているのかが聞けると嬉しいなと思います。

事務局：

宮原委員ありがとうございます。担い手の発掘・育成が最重要課題であると考えております。講座等、市民活動の拠点となる、市民交流センターの認知度をもっともっと上げていきたいと考えております。指定管理者なんですけども、現地での講座等確認しましても、まだまだ講座に参加されてる方はリピーターの方々が多いためです。ですから、そもそも市民活動セン

ターがどういう施設であるかというのは昨年度、広報等を通じ、担当として広くPRしていきたいという狙いを持って、やってきました。

昨年度から指定管理者も変わっておりますので、今年度から2年度目になります。私自身も2年度目になるんですけども。共に情報共有をして、企画の内容ですとか、委員からもご指摘がありました、わくわくサロンに関しては、そもそもの市民活動のきっかけ。何か活動を始めたい方々のきっかけとなる講座ですとか、そういった趣旨を共有して、さらに企画内容・広報に関しましても、ブラッシュアップをしてみたいと考えております。回答がざっくりですみません。

副会長：

いえ、ありがとうございます。今すぐにご回答っていうよりは、次に向けてわくわくサロンも、取っかかりが、やりたいと思ってこなかった人でも、参加することによってひよっとしたら関心を持って、ちょっと勉強してみようかなとか、やってみようかなっていう人もいるかもしれないと思うんです。でも、その情報が今、多分わからないっていうところだと思うし、次への取っかかりがないのかな、っていう印象を受けているので、何か共通して、例えば、アンケートを取るとかですね、何かその次への取っかかりが見えるようなものをデータとして集められると、来年度の施策に反映しやすいかなと思うので、そこだけ何か御検討いただけるといいかなと思います。

事務局：

はい、ありがとうございます。ありがたいことにですね。すみません、しゃべってしまうんですけども、私は市民協働課に異動して2年目になるんですけども、それで、それまで意識していなかったがために気づいてなかったことだと思うんですが、今朝の中日新聞朝刊等見ておりましたが、本市における市民活動団体ですとか、NPOの方々の事業取組み、地域の町内会の活動を日々、掲載いただいております。

そういったものって、そもそも地域活動に対して、余り考えられてない市民の方も記事を見ることによって、市民の方の実感に繋がるというか、伝わるものだと思います。やっぱり、安城市の魅力づくりっていうのは、市民、そこに住まわれている市民の皆さんの自主的な活動、取り組みの延長の先にもっともっとうい安城市が創られてくると思いますので、引き続き行政として取り組んでいくことを、指定管理者と考え、啓発・企画内容を実施してみたいと思います。宮原委員また今後ともよろしく願いいたします。

会長：

他は、どうですかね。よろしいでしょうか。

委員：

お伺いしたいんですけども、今ここでの質問は、この、平成30年度実施の安城市民活動助成金事業一覧についても質問しちゃってもいいんですか。改めて質問させていただきます。

事業一覧を出していただきまして、大変なご苦勞をかけてしまったなと思って反省しておりますが、ちなみに持ってきたのはですね、これが1番最初の募集のときの要旨ですよね。これに、対応するような報告書が当然出てるもんだと私は思ったんですね。これだけの申請を書くのであれば、それに対応した報告書が、これに対して交付しましたっていうのが上がってきて、収支もちゃんとついてて、一つのフォーマットとして出してあって、そういうものを出してくださいねという意味で言ったんですけども、それもないんでしょうか。

事務局：

今回は抜粋で出させていただいております。委員の皆さまにお手元の一覧として作成させていただいたものです。報告書としましては、団体から実際の収支の決算書や領収書ですとかも合わせまして提出いただいております。今回は、申請時の事業計画に記載のある内容と、報告書の実績の内容に関しまして、抽出をし、作成させていただいた次第です。

委員：

わかりました。ありがとうございます。じゃあ、出てるということなんで。一覧は非常にわかりやすいと思うんですね、1番最初プレゼンテーションのときに、これだけの事業を使ってこういう予算配分で使わせてもらって事業をやりますよっていう、発表してもらって、いわゆる約束をしてくれたんですね。私がちょっと、その後で、1年やってもらって報告会があって、前回初めて出席をさせてもらって、その報告を見て聞いたんですけども、1番最初に書かれていた、これだけのことをやりますよっていう中で、やられていないことがあるのかな、というふうに思ったんで、この計画書と報告書で照らし合わせをして、ここやられてないよねっていうのがわかるようになってるんですね。その辺の報告が全然なかったんではどうなっておるのかなと。あくまでもこれだけの事業をやるんで、これだけの補助金をくださいという前提のはずなんで、やられてなかったんならここやりませんでした。でも、こちらで予算は、充当して使わせていただきましたという報告があって然るべきだと、私は思うんですね。そういうことがないと。これ出しっぱなしで、誰もチェックしてないんじゃないのって話になっちゃうと思うんですよ。これやっていると、良い市民活動団体は育ちませんよ。最終的な目標というのは多分、この任意団体じゃなくって、ちゃんと法人格をとって、継続的にいい仕事をやってきましょうという、団体を増やすのが、私は最終的な目的だと思うので。そうなると、きちんと報告をして、何ができなかったのか、予算はどうなのかっていうところまで、きっちり押さえて、報告をして、発表してもらわないと。これは、法人格なんて夢のまた夢ですよ。いくら良いアイデアを持っていても、任意団体である限りは、その人が辞めちゃったら、もう終わっちゃうんですよ。できるだけ法人格を持ってもらって、継続して良いことをやっててもらいたい。それが住民自治につながるし、市民協働ですよっていうのであれば、そこんところきっちり押さえてもらわないと、これはいつまでたっても良い団体は育たないと思います。なので、良い団体を育てるっていう一つの方法として、良いフォーマットをつくるための一つなんですよ。この計画に対して、こういうふうになりましたというような、見やすいものをちゃんとつくってあるんだったら、それをできれば見

せていただきたいなど。そのプロセスも全部わかりますんで、であれば、非常に市民活動や
ってる方たちも有益なアドバイスができると思うんです。その辺のところも、ちょっと考え
てもらって、一覧も良いですけども、できればどうやったのか照らし合わせができるような
資料をいただきたいということです。

会長：

はい、ちょっと関連すると思うんですけど、事業のですね、来年1月ですか。コンペやり
ますよね。その結果の報告会というのは、今年度の場合はいつになるんでしょうかね。

事務局：

3月です。

会長：

3月にもう一回、会議があるわけですか。

事務局：

そうですね、加藤会長ありがとうございます。例年3月に、市民活動補助金の助成を受け、
事業を行った団体に、事業の成果報告会の場を設けております。そちらに関しましては、昨
年度の11月、1月の会議の場でも、ご都合のつく方は、委員の皆様もぜひご参加くださ
いと周知をさせていただいております。

会長：

このあいだ事前説明を受けた際にね、報告会というかね、成果報告会的な話をちょっと私
が聞き漏らしたのかもしれないけど。今の山下委員が言われた、個々のプロジェクトがど
うなったという話が、いつの段階でされたのかなと思って聞きました。3月にされているな
ら、それで結構です。山下委員の話については、どうですかね。

事務局：

ご指摘いただいた、実施申請書と実績報告書に関する書類の様式に関してですが、実際
のところ、昨年度見直しを図りました。今年度の事業報告に関してましては、2年前募集の
ものですので、以前の様式ですけれども。今年度、事業を実施している申請事業、事業団体
より、成果報告として実績の出てくる分については、昨年度変更した様式に基づき、出
てまいります。報告書の改善に関しては、事業の目指す効果的なものですか、そう
いった細かな項目を設け整えたところでございます。

委員：

なので、団体が言いっ放しになっちゃってるんですね。最初のときに、これだけのもの
をつくってちゃんと、プレゼンテーションまでやってもらって、最後のときに、こう
やってお

りました、で終わっちゃってるんですよ。すごく、もやもやが残っちゃってるんで、何かすっきりさせてほしいなということです。

委員：

今、委員の言われた報告書についてですが。私たちが見るべきところは細かく見たほうが良いとは思いますが、領収書をつけたり、本当に細かいところまでつけてるので。全部見るべきなのかっていうと、見れないぐらい内容があって、それぞれの団体がかなり多くの資料を作っているのを見たことがあるので、どこまで見せてほしいかっていうか、そこまで求めるっていうのは難しいことだと思います。

私が見てる限りでは、最初のプレゼンの際に、こんなことをしたいですと言ったときの内容と、成果報告のプレゼンの場で、最後にこんなふうにできましたって言ったときの成果に相違があったという感じはしなかったんで、余り細かいことについては気にならなかったです。もちろん、金額が正しく使われてるかどうかとかいったことについては、見ていきたいところはあると思うんですが、本当に何時間働いたとか、どこでどんな風にPRをしたとかすごい細かいところまで、団体の皆さん出してるので、どこまで私たち委員が読み込むかっていうのは。もちろん、提出された報告書資料はあるので、それを見ることはできると思うんですが、それを全部印刷して見るかっていうと、その負担もたくさんあると思います。

そこら辺、どこまで見せていただくかっていうのはもちろん資料を個人で見に行くこともできると思うので、見たい人は見に行ってもいいと思うんですが、私は抜粋に、つけ加えてほしいことがあれば、これをつけ加えてくださいというのは良いと思うんですが、本当に細かいところまで出してもらうのは、どこまでかっていうと、難しいところがあると感じています。

会長：

今おっしゃってるのは、このベースでいいんじゃないですか、ということでしょうか。

委員：

そうですね。これだけではちょっと足らなければ、例えば、この2,500円は何ですかとか、このところは実際どんなふうに入件費が払われてますかっていうのを確認するのはいいと思うんですが、あの膨大な資料を全部私たちが精査するにはちょっと量が多くなって感じがします。

会長：

この30年度分について。今回これを出してもらったんですけど、その成果報告会の段階では、これに近いものはまとまってるんですかね。

事務局：

事業団体によっては出てないものがございます。例えば、事業実施が2月のものなど、申

請事業の実施時期によって異なっておる次第です。

会長：

まあですから、こういうものこそ、この会議の間際では無くて、3月とか4月には、各プロジェクトの推進団体からは出てきているはずなので、そのまとめを委員に早目に配布していただいて、そこでどうしても、委員の方から何かあれば、それについては個々に回答するというか、この会議自体が年に2回か3回ですとタイミングが難しいと思いますが。この会議の前には資料として出すことはできるんじゃないでしょうかね。

事務局：

山下委員、久恒委員ありがとうございます。成果報告会の際に、事業団体がPRする場がございますので、今までの資料として何もなかった形ですが、当日の手元資料として、このような資料があれば、より事業の中身に関して、当日の会のあり方として、より適正であるという趣旨のご発言でよろしかったでしょうか。

委員：

はい。わざわざ今まとめてもらう手間もかかると思うんで、こういうものが出されてるんだったら、最初の申請書見たってそうとう細かいことまで書いてありますよ。だから、これにエビデンスを全部付けて、見せてくださいとは言っていないんで。これはあくまでも信用ですから。やったことはやったことで、そのままやったことだというふうに判断しますから。そういうフォーマットがあれば、これ金額も書いてあるじゃないですか。ここで幾ら使いましたよと。この程度のものでいいんで。例えば、計画時点ではこれだけ書くのなら、実施時点でどうなりましたって書いてあればすぐ分かるわけじゃないですか。わざわざつくる形で出してくれるんだったら、その抜粋したところで結構ですから。事業内容、何をやったのかがわかるようなことぐらいは手元に欲しいですねっていう話です。

事務局：

ただいま山下委員、久恒委員からも、この件に関しまして、ご意見をいただきましたので、いただいたご意見を踏まえまして、本年度の3月の成果報告会の際に対応させていただければと思います。また今後につきましても、ご意見をもとに事務局で検討し、改善してまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

会長：

今、山下委員の言われましたようにね、まったく新しくつくるというよりも、もともとの計画に対してどうだったということがね。一目瞭然な形で、一個一個がどうこうというよりも、計画がこれだけに対してこれとね。そういう形にしか、仕様がなと思いますよ、一個一個見て、本当の計画はどうかなんて。そこまでは当然、こんなたくさんのものができるわけじゃないんですから。これの前の段階でもいいので、計画と実績がわかるものということだと

思いますので、お願いします。

委員：

こちらの補助金を活用させていただいて、今年度も今実施している団体のものとして、どういふ報告をするかっていうことなんですけれども。やってる側としては事業をつくるために、取り組んでいるわけですので、当然このPDCAっていうものを意識して、実際やりたからお金をくださいっていう単なる構造じゃないわけで。それをどのように事業化して、継続して、市民の皆さんに提供できるかっていうところまでが、1年でチャレンジしてここまでできた。それで、こういう事業を事業化するためには、こういう課題が見えてきた。次こうしたい、だからそれが明確にわかるような報告書そのものを紙1枚で、例えば、それぞれの団体が共通のフォーマットで、ぱっと見て誰が見ても、これを実施してこういう課題、数値が出てきた。それで評価としては、自己評価的にはこういう課題も見えてきて、次にこの1年を踏まえて、どうするっていうところまでがぱっと見てわかるものが出てくるのが1番。そのお金はそれについて実施したと、行政さんそれをチェックするのが得意なジャンルなわけですので、それについては、適正に使ったということで、実際に何を成果として、団体が行って得られたか。例えばそれを協働課題に取り組んでいくタイプのものもあれば、全く新規に課題を発見して、任意の団体さんが出される場合もあります。どの形にしても、取り組んで起きたことをどう整理して、次に生かすっていうのは必ずあるわけなので。それはまだ2月に実施が残っている団体でも、1年やってきて、わかることは必ず0じゃないと思うので。それがわかる資料が当日の資料として手元にあるのが。成果報告会の際、団体発表がどうしても10分ないですよ、あの短い時間で、司会のサポーターの小森さんが盛んにPDCAに基づいて発表してくださいと言っても、なかなか、ある意味直情型発表会をやりましたっていう感じの部分であって、少しパフォーマンス的な部分があったりすると7分なんてすぐに過ぎてしまう。それで、どうしたかったのっていうのが、わからないっていう、やっぱりもやもやが残った発表だったかなっていう気はします。せつかく大事な補助金を使わせていただくなら、1番大事なのはそれで何を得たのかってところで、次にどうしたいのってところが聞きたいところなので。そこをクローズアップできるような資料を添付していただければ一目瞭然で、それぞれ公平に見ていただけるかなと思います。

会長：

はい、ありがとうございます。実際に活動されている松岡さんでございますので、どういふフォーマットということも含めてね、またご提案いただければというふうに思います。

事務局：

委員の皆様、さまざまな立場からご意見いただきありがとうございます。事務局で今いただいた御意見をもとに、書類の作成に関しましては検討し、対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

会長：

それでは時間のこともございますので、この議題につきましては、以上でよろしいですかね。はい、この評価で承認されたということで、続きまして報告事項ですね、令和2年度安城市市民活動補助金の募集概要、こちらについて事務局説明をお願いします。

4 報告事項 令和2年度安城市市民活動補助金の募集概要について

事務局：

(令和2年度安城市市民活動補助金の募集概要について説明)

会長：

事務局ありがとうございました。改正点もね、3つほど取り入れていただいておりますし、やりやすい方向に進んでいくかと思えます。質問もないようですので、以上をもちまして議事を終了いたします。皆さんの活発なご意見、スムーズな進行大変ありがとうございました。

これで進行は事務局にお渡しします。よろしくをお願いします。

事務局：

ありがとうございました。最後に課長から、連絡事項として今後のスケジュール等についての説明を行います。

事務局：

はい、本日は長時間に渡り、本当に貴重な御意見をいただきまして、まことにありがとうございます。事前資料の送付が大変おくれましたことをご迷惑おかけしまして、大変申し訳ございません。以後、気をつけてまいりたいと思えます。

今回は第2次計画の初めての進捗管理でございます。たくさん貴重な意見をいただきましたので、その点も踏まえて、よりわかりやすい進捗評価、2次計画の推進をより一層推進してまいりたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

なお、本日の会議資料と議事録につきましては、公式ウェブサイトにも掲載をさせていただく予定ですので、ご理解をいただきたいと思えます。次回の審議会につきましては先ほどございました。年が明けまして、1月18日の土曜日に開催予定をいたします。

今度は遅れることなく、それにもお届けさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。それでは、長時間にわたりまして、ありがとうございました。

事務局：

最後に1点、再度担当より連絡事項ですみません。来る9月28日土曜日の午後、市民交流センター2階多目的ホールにおきまして、安城市市民活動補助金制度の募集前に事前説明会を開催します。説明会とあわせまして、講師に学校と地域をつなぐ教育コーディネーターを事業化した。NPO法人アスクネットの創設者であり、現在は一般社団法人アスバシの代表理事としてキャリア教育に関する政策提言やプログラムづくり、講演活動で全国各地の教

育NPO支援を行われている、毛受芳高氏を講師に迎え、団体が事業活動を持続的に継続する上での資金調達など、団体に向けた市民活動を行う上でのヒントとなる講演を予定しております。講師の毛受様におかれましては、安城市では、企画情報課が有するケンサチグランプリの補助金に関しましてもご協力をいただいております。

委員の皆様におかれましても、ご都合のつく方はご参加いただければと思います。よろしくお願いたします。

それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回安城市市民協働推進会議を終了します。本日はありがとうございました。

3 会議の承認事項

- ・第2次安城市市民協働推進計画の進捗状況（平成30年度分）の評価

4 対応検討事項

- ・計画の施策状況調査シートの進捗評価について改善
- ・成果報告会の際に、助成を受けた申請団体の一覧資料を資料として配布